# 千葉県企業トップに聞く

新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和され、経済が回り始めた。ただ、エネルギーや資材価格が高騰するなど企業を取り巻く経営環境は厳しい。その中での現状と、今後、どのように成長を実現するのかを千葉県の企業トップに聞いた。

## 逆境乗り越え成長を持続

### 福田工業

社長 福田 吉隆 氏

**ネットで技術発信 新規顧客獲得**

―事業内容は。

「プレス加工メーカーで、主に自動車業界向けに、ガスケット、パッキンなどを製造している。メーン顧客であるSUBARUとは、戦前の中島飛行機から取引している。2022年7月期の売上高は約7億6000万円だ」

―どのような技術に強みがありますか。

「金型を使った薄板加工では、抜き加工時のバリ抑制、曲げ加工時の割れ抑制に自信がある。合板に刃を付けた『トムソン型』を使った加工も得意だ。金型を使う加工よりコストが抑えられるため、中ロットの製品で引き合いが多い。トムソン型では金属だけでなく、紙や布素材の抜きも行う。固い紙素材など、業界が苦手とする素材を精密に抜くことが評価されている」

―自動車業界は半導体不足に苦しみ、電動化シフトなど変革が起こっています。

「影響は大きい。エンジン回りに使われるガスケットも、受注があっても取引先の生産調整で納品を待つ場合があり、売り上げにもマイナスだ。我々は取引先から『ガスケットメーカー』と思われることが多いが、本当はプレス加工屋。自動車部品にこだわらず仕事の幅を広げ、事業の多角化を狙っていく」

「インターネット経由で仕事を受注できるよう『抜き加工・com』というサイトを18年に立ち上げた。最近は年間20顧客の獲得につながっている」

福田工業の主力製品であるガスケット

―23年度の展望は。

「ガスケット、パッキンの仕事はありがたいが、それだけでは成長が難しい時代となっている。ネットを通して、当社のプレス、検査、梱包技術を幅広く紹介し、新たな仕事を獲得していく。また、ネットからのお客さまは当社だけの技術では解決が難しい依頼も多い。一緒に新しい仕事に挑戦する仲間も増やしていきたい」

**企業データ**

▷所在地＝千葉市美浜区新港214、043・241・4011▷資本金＝3720万円▷従業員数＝40人▷設立＝1949年（昭24）12月▷URL＝https://fukuda-kk.com/

### ろくや

社長 渡辺 丈宏 氏

**宿泊客大切に コスト削減分還元**

―新型コロナウイルス感染症の拡大は観光業界に大きな打撃を与えました。

「旅館とホテルは接客業であることから、新型コロナウイルス感染症に未知の部分がまだ多かった時、私は従業員を働かせたくはなかった。そのため多くの予約はあったが、2020年4―7月は旅館とホテルと休業した。ただ、営業を再開した後は、お客さまが宿選びに慎重になっている中で風呂は各部屋にあり、食事は個室で食べるなど他のお客との接触機会が少ない我々が選ばれる確率が高くなった」

―高い稼働率とリピート率が特徴です。

「稼働率は95％以上で、リピート率は60―70％だ。我々は他社が運営する旅行サイトなどを利用しておらず、お客さまと直接つながっている。例えば予約サイトの利用料分を料理の素材に還元するだけでも圧倒的な差がつく。そして同じ料金を支払うのなら『ろくや』や『rokuza』に、また泊まろうということになる。お客を大切にすることがリピートに、そして経営の安定化につながるという当たり前のことを徹底してやっている」

―南房総という観光地に立地していることも大きいですか。

「千葉県の木更津と神奈川県の川崎を結ぶ東京湾アクアラインが開通した際には日帰りが可能になり、南房総の観光業は打撃を受けるといわれた。だが、我々は観光業ではなく、部屋で温泉料理を食べられるだけではなく、部屋で温泉に入れ、泊まることもできる。1カ月間に3回泊まりに来てくれるお客さまもいる」

rokuzaは全室から海が眺められるという概念を捨て、〝気の利いた居酒屋〟感覚で旅館とホテルを経営している。交通費とちょっとした移動時間は必要だが、美味しい料理を食べられるだけではなく、部屋で温泉

―宿泊施設だけではなく、「渚の駅たてやま」内のレストランも運営しています。

「旅館・ホテル業の次にレストランや物販も手がけた。従業員は大変だが、同じことはやりたくないのが私の性格だ。常に新しいことに挑戦し、ワクワクしていたい」

**企業データ**

▷所在地＝千葉県南房総市久枝494、0470・57・2011▷資本金＝1000万円▷従業員数＝103人▷設立＝1990年（平2）9月▷URL＝http://www.rokuya-resort.com/

### ネステック

社長 月岡 周郎 氏

**中東でプラント用機器 7400台受注**

―受注が堅調に推移しています。

「2021年に東京五輪が開かれたことから、東京都で都市開発が進み、多くの高層ビルが建設された。そのためビル空調用商品の受注が堅調に推移した。ただ、五輪後は受注が伸び悩むと見ていたが、東京都と大阪府では高層ビルの建設が継続しており、引き続き受注が堅調に推移している」

―海外でも受注に成功しました。

「新型コロナウイルス感染症の規制が緩和され、中止していたプロジェクトが動きだしたということだ。ただ、プロジェクト数はまだ少なく、その中でも評価してもらえたのはうれしい。今回は中東で化学プラントと液化天然ガス（LNG）プラント用の工業用温度計と圧力計、差圧計を受注した。2プロジェクト合わせて7400台で、日本のエンジニアリング会社から2億2000万円で受注した」

―大型受注ですが、商品を安定供給できますか。

「生産は本社工場（千葉県習志野市）と大原工場（同いすみ市）、インドネシア工場の3工場体制でカバーできる。今後は生産拠点の役割分担を明確にし、本社工場は特殊機器と新商品開発に特化、大原工場は国内向け汎用品、インド工場は海外向け汎用品をそれぞれ生産する体制づくりを進める。またモノづくり力を強化するため、本社工場を成長を実現するため、今をマスター工場とし、優後、どのような取り組み

本社工場は特殊機器と新商品開発に特化

秀な技術者を指導員として他の工場に派遣し、技術の担い手を育成する。本社ではISO14001の認証も取得した」

―さらなる商品を開発したい

を進めますか。

「新規への展開もさることながら、既存の顧客に買ってもらえる商品を開発する。本社工場を拠点に最先端技術を駆使したメカトロニクス分野の商品や、カーボンニュートラル（温室効果ガス〈GHG〉排出量実質ゼロ）を目指す取り組みを本格化する中、水素やアンモニアなどを燃料とする船用エンジン向け商品を開発したい」

**企業データ**

▷所在地＝千葉県習志野市茜浜1の12の1、047・453・1182▷資本金＝5000万円▷従業員数＝72人▷設立＝1956年（昭31）8月▷URL＝https://www.nesstech.co.jp/